



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年8月7日

上場会社名 株式会社ユシロ 上場取引所 東
コード番号 5013 URL <https://www.yushiro.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 有坂 昌規
問合せ先責任者 (役職名) コーポレート部門 (氏名) 横井 宏紀 TEL 03-3750-6761
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績(2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	12,941	△3.7	1,224	6.4	1,592	7.6	1,315	△35.9
2026年3月期第1四半期	13,434	1.3	1,150	2.4	1,480	△9.9	2,050	44.2

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 2,404百万円(254.1%) 2026年3月期第1四半期 679百万円(△77.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	101.34	—
2026年3月期第1四半期	152.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2027年3月期第1四半期	67,114	48,814	72.5	3,773.22
2026年3月期	64,962	47,906	73.5	3,665.68

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 48,642百万円 2026年3月期 47,743百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	30.00	—	82.00	112.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期(予想)	—	40.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2027年3月期の期末配当金予想額は、未定です。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,200	2.0	4,050	△9.8	5,150	△9.2	3,900	△18.6	304.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2027年3月期1Q	13,900,065株	2026年3月期	13,900,065株
2027年3月期1Q	1,008,445株	2026年3月期	875,645株
2027年3月期1Q	12,976,695株	2026年3月期1Q	13,463,295株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料 3 ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

決算説明会資料は、2026年 8 月 7 日 (金) に当社ウェブサイトに掲載予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、中東地域を巡る地政学的リスクの高まりや、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化に加え、米国の通商政策の動向の不確実性が継続する中、原油及びその由来製品の価格高騰や人件費や物流コストの増加などの影響が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。特に、中東情勢の緊迫化を背景として、エネルギー市場や国際物流への影響が意識される局面も見られました。日本経済においては、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続いたものの、物価上昇の継続や為替相場の変動に加え、海外経済の減速懸念及び資源価格の動向など、引き続き注視を要する状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社は中期経営計画「EXPLORER PLUS」の最終年度として、経営目標の達成と持続的な成長に向けた各種施策を推進しております。主力の金属加工油剤事業においては、自動車業界を取り巻く環境変化や各種コスト上昇に対応しながら収益性の向上に努めるとともに、EV関連市場の拡大や環境負荷低減ニーズを見据えた高付加価値製品の開発・拡販を進めております。また、成長分野として位置付ける非自動車分野では、航空機や鉄道などの産業分野への展開を強化するとともに、クレンリネス事業においてガラスコーティング剤や各種車両向け製品の拡販を推進しております。さらに、新領域となるキー・マテリアル分野では、光触媒製品やシクロデキストリン誘導体をはじめとした機能性材料の用途開発・事業化を進め、新たな収益基盤の構築に取り組んでおります。加えて、グローバル事業基盤の強化、DX推進による業務効率化、人材育成および組織能力の向上に向けた投資を継続するとともに、資本効率の向上と企業価値向上を意識した経営を推進しております。これらの取り組みを通じて、中期経営計画の達成と持続的な成長の実現を目指してまいります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、販売価格の改定や堅調な需要に支えられたものの、前年第1四半期まで連結子会社としていた中国合弁会社を持分法適用会社へ移行した影響などにより、前年同期比3.7%減の12,941百万円となりました。利益面につきましては、価格改定効果に加え、コスト抑制に努めた結果、営業利益は前年同期比6.4%増の1,224百万円となりました。経常利益は、営業利益の増加に加え、持分法による投資利益の増加等により、前年同期比7.6%増の1,592百万円となりました。一方、親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益が大幅に減少したことなどにより、前年同期比35.9%減の1,315百万円となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、セグメント利益は営業利益ベースの数値であります。

①セグメント別売上高

		前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		4,820	35.9	5,423	41.9	602	12.5
海外	南北アメリカ	5,311	39.5	5,475	42.3	163	3.1
	中国	1,486	11.1	—	—	△1,486	—
	東南アジア/インド	1,815	13.5	2,041	15.8	226	12.5
	海外合計	8,613	64.1	7,517	58.1	△1,096	△12.7
日本+海外合計		13,434	100.0	12,941	100.0	△493	△3.7

②セグメント別営業利益

		前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増減	
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	増減額(百万円)	増減率(%)
日本		148	11.6	424	31.0	275	185.1
海外	南北アメリカ	821	64.2	662	48.3	△159	△19.4
	中国	79	6.2	—	—	△79	—
	東南アジア/インド	229	18.0	283	20.7	54	23.5
	海外合計	1,131	88.4	946	69.0	△185	△16.4
日本+海外合計 (調整額除く)		1,280	100.0	1,370	100.0	90	7.1

③セグメント別概況

(日本)

日本においては、中東情勢の緊迫化を背景とした原材料の安定供給への懸念から期初に一時的な需要増加が見られ、その後は出荷調整の影響を受けたものの、販売数量は概ね堅調に推移いたしました。また、原材料価格の急激な上昇に対応し販売価格への転嫁を進めた結果、売上高は前年同期を上回りました。利益面では、価格改定効果に加え、経費の抑制に努めたことも寄与し、前年同期比で大幅な増益となりました。

(南北アメリカ)

南北アメリカにおいては、前期に見られた米国の関税政策を背景とした日系自動車メーカーによる在庫調整の影響が解消したことなどから、販売数量は回復し、売上高は前年同期を上回りました。一方で、人件費や経費をはじめとする各種コストの上昇に加え、市場環境の変化に伴う影響もあり、前年同期比で減益となりました。

(東南アジア/インド)

東南アジア/インドにおいては、自動車関連を中心に需要が堅調に推移いたしました。利益面では、拡販の進展及び原価低減活動の効果により収益性が改善いたしました。今後も中東情勢を背景とした原材料価格の影響について注視が必要な状況にあるものの、売上高、利益ともに前年同期を上回りました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、67,114百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,152百万円増加しました。主な要因として、「現金及び預金」が189百万円減少したものの、「建物及び構築物」が1,389百万円、「投資有価証券」が734百万円、流動資産の「その他」が307百万円増加したことによります。

負債は、18,299百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,244百万円増加しました。主な要因として、「短期借入金」が216百万円、「賞与引当金」が195百万円減少したものの、「支払手形及び買掛金」が1,424百万円、「繰延税金負債」が222百万円増加したことによります。

純資産は、48,814百万円となり、前連結会計年度末に比べ908百万円増加しました。主な要因として、「自己株式」を428百万円取得したものの、「為替換算調整勘定」が546百万円変動し、「その他有価証券評価差額金」が571百万円、「利益剰余金」が215百万円増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年3月期の業績予想につきましては、2026年5月15日公表の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,486	12,296
受取手形及び売掛金	8,149	8,356
商品及び製品	2,337	2,559
原材料及び貯蔵品	4,767	5,249
その他	1,523	1,831
貸倒引当金	△28	△30
流動資産合計	29,236	30,263
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,651	5,040
機械装置及び運搬具(純額)	1,286	1,437
工具、器具及び備品(純額)	313	389
土地	5,162	5,335
リース資産(純額)	121	125
使用権資産(純額)	305	295
建設仮勘定	1,695	187
有形固定資産合計	12,537	12,812
無形固定資産		
のれん	1,504	1,468
顧客関連資産	1,902	1,904
技術資産	519	513
商標権	455	450
その他	907	886
無形固定資産合計	5,289	5,223
投資その他の資産		
投資有価証券	6,454	7,188
関係会社株式	6,280	6,168
関係会社出資金	3,588	3,843
保険積立金	671	674
長期預金	2	2
退職給付に係る資産	504	515
繰延税金資産	118	152
その他	371	363
貸倒引当金	△91	△92
投資その他の資産合計	17,899	18,816
固定資産合計	35,726	36,851
資産合計	64,962	67,114

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,200	5,625
短期借入金	5,551	5,335
リース債務	129	127
未払金	697	565
未払法人税等	220	355
賞与引当金	390	194
役員賞与引当金	11	4
その他	1,055	1,116
流動負債合計	12,257	13,325
固定負債		
長期借入金	38	20
リース債務	308	302
繰延税金負債	3,321	3,543
役員退職慰労引当金	151	139
退職給付に係る負債	773	799
長期預り保証金	193	158
資産除去債務	11	11
固定負債合計	4,797	4,974
負債合計	17,055	18,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,249	4,249
資本剰余金	3,939	3,939
利益剰余金	33,275	33,491
自己株式	△1,645	△2,074
株主資本合計	39,819	39,605
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,046	3,618
為替換算調整勘定	4,600	5,147
退職給付に係る調整累計額	276	271
その他の包括利益累計額合計	7,924	9,037
非支配株主持分	163	171
純資産合計	47,906	48,814
負債純資産合計	64,962	67,114

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	13,434	12,941
売上原価	9,041	8,604
売上総利益	4,392	4,336
販売費及び一般管理費	3,241	3,111
営業利益	1,150	1,224
営業外収益		
受取利息	55	62
受取配当金	79	97
為替差益	—	16
持分法による投資利益	134	189
その他	128	34
営業外収益合計	397	399
営業外費用		
支払利息	19	26
為替差損	40	—
その他	8	6
営業外費用合計	68	32
経常利益	1,480	1,592
特別利益		
投資有価証券売却益	1,160	154
特別利益合計	1,160	154
税金等調整前四半期純利益	2,640	1,746
法人税等	532	425
四半期純利益	2,107	1,321
非支配株主に帰属する四半期純利益	57	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,050	1,315

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	2,107	1,321
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	126	571
為替換算調整勘定	△1,256	533
退職給付に係る調整額	43	△5
持分法適用会社に対する持分相当額	△342	△16
その他の包括利益合計	△1,428	1,083
四半期包括利益	679	2,404
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	720	2,396
非支配株主に係る四半期包括利益	△41	8

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	中国	東南アジア ／インド	合計		
売上高							
金属加工油剤関連事業	4,308	5,311	1,486	1,815	12,921	—	12,921
クレンリネス関連事業	512	—	—	—	512	—	512
顧客との契約から 生じる収益	4,820	5,311	1,486	1,815	13,434	—	13,434
外部顧客への売上高	4,820	5,311	1,486	1,815	13,434	—	13,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	431	1	—	—	433	△433	—
計	5,252	5,313	1,486	1,815	13,868	△433	13,434
セグメント利益	148	821	79	229	1,280	△129	1,150

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

中 国 : 中国

東南アジア／インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△129百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が3百万円、クオリケムInc.買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△132百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	南北 アメリカ	東南アジア ／インド	合計		
売上高						
金属加工油剤関連事業	4,774	5,475	2,041	12,292	—	12,292
クレンリネス関連事業	648	—	—	648	—	648
顧客との契約から 生じる収益	5,423	5,475	2,041	12,941	—	12,941
外部顧客への売上高	5,423	5,475	2,041	12,941	—	12,941
セグメント間の内部 売上高又は振替高	365	—	9	375	△375	—
計	5,789	5,475	2,051	13,316	△375	12,941
セグメント利益	424	662	283	1,370	△145	1,224

(注) 1 各地域セグメントに属する国

日 本 : 日本

南 北 ア メ リ カ : アメリカ、ブラジル、メキシコ

東南アジア／インド : タイ、マレーシア、インド、インドネシア

前連結会計年度において中国セグメントに分類しておりました上海尤希路化学工業有限公司について、連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より中国セグメントを当社グループの報告セグメントから除外しております。

2 セグメント利益(営業利益)の調整額△145百万円のうち主なものは、未実現損益の消去が△10百万円、クオリケムInc.買収に係るのれん及び無形固定資産の償却費△135百万円であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2026年5月15日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において自己株式132,800株の取得を行っております。この結果、自己株式が428百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が2,074百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	289百万円	238百万円
のれんの償却額	64百万円	66百万円